

天地人

清記用紙(番号)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
桜貝透かしこの世は桜色	囀る鳥籠の鳥唄いてをり	是年たよと握る母の手花こふし	花開く行余曲折の幹にして	春光のほかは纏はず乙女像	春灯店主の座面擦り減りて	若草の弾みて返す雨の玉	日向雨わら草花と匂ひ立つ	そぞろ雨妖精の来る花袋	黄沙ふり軒の雨やささ濁り

南柯句会

() 写

↓

選句用紙

選者名 福田洗弥

特	⑥ 特	⑤ 特	4	3	2	1
若草の光さす 部屋母人居	たけのこをたてに 半分おすそ分け	春光やフランスパンの紙袋	満開の廃墟となり レドライグイン	色褪せてなほ 門飾る椿かな	若草やうじゃうじゃ として多種多様	若草の丘 ^{おれ} 辺 ^べ 蕪村の詩と歩く

選句用紙

選者名

南柯

特	6	5	4	3	2	1
春ともし店主の座面擦り減りて	潮 <small>しほ</small> 干 <small>ひ</small> 鴻 <small>かた</small> 地平に腰を下ろす人	万愚心節 健診結果に目を逸らす	萌え立つは百花に優 <small>すぐ</small> る草若葉	桜貝透 <small>あ</small> しこの世は桜色	自分史の最終頁春の虹	そぞろ雨妖精の乗る世 <small>よ</small> 化 <small>い</small> 符 <small>ふ</small>

R8
4/2
(南柯)

選句用紙

選者名

近藤和草

特	6	5	4	3	2	1
	催 ^{サカ} 花 ^い 雨 ^か や ^う 敷 ^フ 正 ^マ ふ ^フ 君 ^{キミ} の水 ^{ミヅ} 化粧 ^{ケイザウ}	チユ ^チ ー ^ユ リ ^リ ッ ^ッ フ ^フ 混 ^マ じ ^ジ り ^リ 気 ^キ の ^ノ な ^ナ い ^イ お ^オ 断 ^{タン} り	あ ^ア の ^ノ 人 ^ニ は ^ハ き ^キ っ ^ツ と ^ト た ^タ ん ^ン ほ ^ホ ほ ^ホ 踏 ^フ ま ^マ ぬ ^ヌ 人 ^ニ	春 ^ハ と ^ト も ^モ し ^シ 店 ^{テン} 主 ^{シュ} の ^ノ 座 ^ザ 面 ^{メン} 擦 ^サ り ^リ 減 ^{ゲン} り ^リ る	花 ^ハ 開 ^{カイ} く ^ク 紆 ^フ 余 ^ヨ 曲 ^{キョク} 折 ^{セツ} の ^ノ 幹 ^{カン} に ^ニ し ^シ る	務 ^ム め ^メ 上 ^ウ げ ^ゲ 新 ^{シン} に ^ニ 農 ^{ノウ} を ^ヲ 春 ^ハ の ^ノ 雲 ^{クモ}

選句用紙

選者名

友澤一途

特	6	5	4	3	2	1
	色 <small>色</small> 褪 <small>退</small> せてなおい内飾る椿かな	春光のほかは <small>纏</small> はず乙女像	急逝の句友へ桜吹雪かな	散るまいと散らさまいと桜内	催花雨や整ふ君の水化粧	風そよぐ晚鐘 遠く花の散る

ひまかめ

日向雨 わか草ふんと匂ひ其

選句用紙

選者名

花山

特	6	5	4	3	2	1
草芽吹く君。死 <small>に</small> た <small>ま</small> ま <small>ふ</small> ん <small>こ</small> な <small>か</small> 触	サヨナラの上でフランク四姉妹	アポロス <small>ル</small> 方有引力 <small>カ</small> 春 <small>は</small> に満 <small>み</small> つ	急逝 <small>の</small> 句友へ梅吹雪 <small>が</small> 下 <small>り</small>	若草の玄場 <small>が</small> 古 <small>の</small> 代帝都跡	ドウブルバ <small>ー</small> が <small>し</small> ず <small>し</small> り <small>乃</small> 子 <small>み</small> 鹿	トドア開けて新 <small>た</small> な <small>な</small> 空 <small>の</small> 気春の朝

6-1

選句用紙

選者名

上田秋霜

特	6	5	4	3	2	1
	春光のほかは纏はず乙女像	若草の風へ <small>たてがみ</small> 長鬣 <small>シシガキ</small> 駆け抜けり	春光やフランスパンの紙袋 <small>シヤウ</small> 郭	若草や山の輪籠ゆるびゆく	過去を断つシユレツターの音木の芽時	老木の切株からの桜かな ほどほどに咲けば絵になる左リリツプ

選句用紙

選者名

山下疾風

特	6	5	4	3	2	1
	金柑をあまた実らせ売物件	春畳 象牙の音の溢れをとり	スフィンクス欠けたる白晝也春の穴工	うち寄せる塵芥に浮く落椿	試されし壯齡の齊力 <small>りよりのよ</small> 春の泥	気持ちよく二トロを忘れ春散歩 春光のほかは纏はず乙女縁

選句用紙

選者名 山崎 たか

特	6	5	4	3	2	1	
	春の天のひと目に山の氷飲み場	15 ドレパーガー ずり ^{すり} み鹿	指先で春を呼び込むスマホフォト	託見所の渦へ這 ^這 ひ行く四月かな	ふっくらと風を巻き込み春キャベツ	金柑をあまたに実らせ売物件	たけのこをたねに半分あすぞ分け

選句用紙

選者名 二 飛

10	9	8	特	6	5	4	3	2	1
			若草の風へ鬘 <small>まと</small> 駆け抜けり	潮干湯 <small>うしほ</small> 地平に腰を下ろす人	湯去 <small>ゆき</small> を断つシユレツターの音木の芽時	色 <small>いろ</small> 褪 <small>あ</small> せてなほ門 <small>かど</small> 飾 <small>かざ</small> る椿 <small>つばき</small> かな	ISドルバーがーがーがー乃 <small>はら</small> 子 <small>こ</small> み鹿	ふうくらくと風を巻き込み春キヤベツ	務め上げ新たに曲長を春の西云

選句用紙

選者名

米田よし

特	6	5	4	3	2	1
春の湯や融けて流れて夜の底	託見所の渦へ這 ^ほ む行く四月かな	若草の広場か古代帝都跡	椰子 ^{ヤシ} の実の打ち上ぐ春の旅寝かな	ふっくらと風を巻き込み春キヤベツ	いかなごのてかる釘煮 ^ナ やまほろしに	狼の生き残りたる卯月かな

選句用紙

選者名 富野香衣

特	6	5	4	3	2	1
	春光やフランスパニの紙袋	紙風船五回っいたう妹へ	句座の床軋みて窪み啄木己心	引き出しの古輪ゴム伸び暮の春	揚雲雀点の如くに朱雀門	チュリッッフ混いり気のないお断り
	託見所の渦へ這ひ行く四月かな					

選句用紙

選者名

内田康子

特	6	5	4	3	2	1	
	金柑をあまりた寒らむ 売物件	若草や少年はただ 駆け廻る	若草の光さす 部屋母入居	若草の上で ブランチ四姉妹	大和なる 高取城の山桜	春光に コソトシの白埋れをり	サセ守や一六代目 藤右衛門

選句用紙

選者名

しゃぼん

特	6	5	4	3	2	1
卒業や板かれ <small>かた</small> 傾 <small>かた</small> ぐ <small>しよか</small> 書架 <small>しよか</small> の列	金柑をあたゝ実らじ売物件	ふ <small>ふ</small> く <small>く</small> り <small>り</small> の風を巻き込み春キヤベツ	万 <small>ばん</small> 愚 <small>ぐ</small> 節 <small>せつ</small> 健診結果に目を逸 <small>よ</small> らす	あの人ほきとたん何何踏 <small>ふ</small> ぬ人	春光マフランスパンの紙袋	日本海 <small>にっぽんかい</small> の怒濤 <small>どとう</small> ち <small>ち</small> 知 <small>ち</small> け <small>け</small> る春知 <small>はるち</small> 心

選句用紙

選者名

鮫島しよん

特	6	5	4	3	2	1	
	春光やフランスパンの紙袋	揚雲雀 点の如くに朱雀門	春荒れて浦島太郎の半世紀	若草や躰す銀輪二人乗り	春天のひと息 山の水飲み場	春ともし店主の座面擦り減りて	方愚 ^{びく} 節 ^{せつ} 健診結果に目を逸らす

選句用紙

選者名

関 洋子

特	6	5	4	3	2	1	
	アポロ発万有引力春に満つ	ほどほどに咲けば絵になるチューリップ	春 ^{はる} 田 ^た 且 ^{たみ} 象牙の音の溢 ^{あふ} れたり	草若葉娘の良き日待ち礼服を	春光のほかほは纏 ^{まと} はず乙女像	金柑をあまた実らせ売 ^う 物件	過去を断つシュレッダーの音 ^ね 木の芽 ^こ 時

選句用紙

選者名

道夫

特	6	5	4	3	2	1	
	春 ^{はる} 疊 ^{エビ} 象牙の立音の溢れたり	託見所の溜へ這 ^は い行く四月かな	揚 ^あ 雲 ^げ 産 ^む 点の如くに朱雀門	弓なりに積もる小廿化や雪柳	月日知る親子三代廿化 ^{はなぬ} 盗 ^{ぬす} 人 ^{びと}	スフィンクス欠けたる鼻や春日の空	巫女の舞花も病も鎮 ^{しず} めんと

選句用紙

選者名 藤原 ゆたか

特	6	5	4	3	2	1
	日向雨 <small>ひなたあめ</small> わか草 <small>ふん</small> と句公立つ	春光に コットン <small>コットン</small> の白埋 <small>うも</small> れをり	草若葉 <small>くさわがは</small> 娘 <small>こ</small> の良き日待ち 礼服を	春光や フランスパシ <small>フランスパシ</small> の紙袋	ふっくらと 風を 巻きこみ 春キャベツ	昭和余年 <small>しやうわねん</small> ホリウの果てに 花散れり

催花雨さいかいう や 整正せいせい 小君こきみの 水化粧みづけしょう

選句用紙

選者名

上窪泰千

特	6	5	4	3	2	1
						萌之立つは百花 <small>ひゃっか</small> に優る草若葉 <small>くさわかば</small>
						託思所の渦へ遠 <small>は</small> ひ行く四月女な
						春風や乙女はうすき紅をひき
						金柑 <small>うりふっけん</small> をまた実らせ売物件
						春昼や知らぬ間に落つ老眼鏡 <small>ろうがんめがね</small>
						春光やフランスパンの紙袋
						その話長くなりまう桜餅

選句用紙

選者名

真

—

特	6	5	4	3	2	1
	指先で春を呼び込むスマホソト	若草の丘 <small>おかの</small> 辺 <small>べ</small> 蕪村の詩と歩く	楊 <small>あやひばり</small> 雲雀 笑の如くに朱雀門 <small>すざくもん</small>	淡利 <small>はつ</small> とドラムメジャーが春の街	春光のほかは纏 <small>まと</small> はずる女像	試されし壮 <small>さう</small> 齡 <small>れい</small> の旅 <small>り</small> 月 <small>つき</small> 力 <small>ちから</small> 春の泥
						句座の床 <small>ゆか</small> 軋 <small>きし</small> みて詫 <small>わ</small> み啄木 <small>つくも</small> 心